

# 土 壤 改 良 資 材

土壤改良資材は、土壤の状態によって適宜使い分けられています。

## ◎主な土壤改良資材

種類	用途（主な効果）	商品の例
泥炭（寒冷な低湿地などで植物が長年堆積して生成したもの。炭化程度は低く、多少腐植化した植物残体）	土壤の膨軟化、保水性の改善、保肥力の改善	ピートモス、ハイフミンなど
ゼオライト（ゼオライト質凝岩を粉末にしたもの。イオン交換容量が大）	土壤の保肥力の改善	ゼオライト、トカチゼオライトなど
バーミキュライト（ひる石を焼成膨張させた多孔質の資材）	土壤の透水性の改善	バーミキュライトなど
パーライト（真珠岩、黒曜石などを急激に加熱膨張させた軽い白色粒状物）	土壤の保水性の改善	パーライト、ネニサンソなど
木炭（木材、樹皮など炭化したもの）	土壤の透水性の改善	みのり炭素など
竹炭（竹を炭化したもの）	土壤の保水性の改善	ガイア緑化用竹炭など
バーク堆肥（樹皮堆肥ともいう。樹皮、おがくずなどを堆積発酵させたもの）	土壤の通気性、保水性、透水性、保肥力などの改善	バーク堆肥、オルガグリーンなど

## ◎土壤改良資材の使用量例

形状寸法	一本あたり		形状寸法	一本あたり	
	パーライ ト (ℓ)	バーク堆 肥 (kg)		パーライ ト (ℓ)	バーク堆 肥 (kg)
《高 木》			《中低木》		
20 ≤ C < 25	30	15.0	50 ≤ H < 80	3	1.5
25 ≤ C < 30	44	22.0	80 ≤ H < 100	4	2.0
30 ≤ C < 35	63	31.5	100 ≤ H < 150	6	3.0
35 ≤ C < 45	87	43.5	150 ≤ H < 200	9	4.5
45 ≤ C < 60	149	74.5	200 ≤ H < 250	13	6.5